別表第11の1の⑵のアの(イ)のcを次のように改める。

c　遠隔起動部(「屋内消火栓設備の屋内消火栓等の基準」(平成25年消防庁告示第２号。以下「屋内消火栓等基準告示」という。)第２第１号⑵の規定に適合するもの（以下「易操作性１号消火栓」という。)、同号⑶の規定に適合するもの（以下「２号消火栓」という。)及び同号⑷の規定に適合するもの（以下「広範囲型２号消火栓」という。)に限る。)

別表第11の1の⑸のイの(ア)のａ中「令第11条第３項第１号の基準により設置される屋内消火栓（易操作性１号消火栓を除く。)」を「屋内消火栓等基準告示第２第１号⑴の規定に適合するもの（以下「１号消火栓」という。)」に改め、同表1の⑸のイの(イ)及び同表1の⑸のイの(ウ)中「及び２号消火栓」を「、２号消火栓及び広範囲型２号消火栓」に改め、同表1の⑸のカの次に次のように加える。

キ　降下装置（屋内消火栓の開閉弁を天井に設ける場合に限る。)

(ア)　周囲の状況

周囲に使用上及び点検上の障害となるものがないこと。

(イ)　外形

変形、損傷等がないこと。

(ウ)　表示灯

変形、損傷、脱落、球切れ等がなく、正常に点灯していること。

(エ)　表示

適正であること。

(オ)　機能

正常であること。

別表第11の1の⑽のオの次に次のように加える。

カ　降下装置（補助散水栓の開閉弁を天井に設ける場合に限る。)

(ア)　周囲の状況

周囲に使用上及び点検上の障害となるものがないこと。

(イ)　外形

変形、損傷等がないこと。

(ウ)　表示灯

変形、損傷、脱落、球切れ等がなく、正常に点灯していること。

(エ)　表示

適正であること。

(オ)　機能

正常であること。

別表第十11中「遮断機構（遮断機構を有する漏電火災警報器に限る。)」を「漏電火災警報器の作動と連動して電流の遮断を行う装置（可燃性蒸気、可燃性粉じん等が滞留するおそれのある場所に設けられる漏電火災警報器に限る。)」に改める。

別記様式第11（その１）を次のように改める。

別記様式第２　（その１）

屋内消火栓設備点検票

名称			防火管理者		㊞
所在			立会者		㊞
点検種別	機器・総合	点検年月日	年　月　日～　年　月　日		
点検者	資格　番号	点検者所属会社	社名　TEL		
	氏名　㊞		住所		
点検設備名	ポンプ　製造者名		電動機　製造者名		
	型式等		型式等		

点検項目			点検結果			措置内容
			種別・容量等の内容	判定	不良内容	
機器点検						
水源	貯水槽		種別			
	水量		m^3			
	水状					
	給水装置					
	水位計					
	圧力計					
	バルブ類					
加圧送水装置	ポンプ方式	電動機の制御装置	周囲の状況			
			外形			
			表示			
			電圧計・電流計	V　A		
			開閉器・スイッチ類			
			ヒューズ類	A		
			継電器			
			表示灯			
			結線接続			
			接地	種接地		
			予備品等			

備考　１　この用紙の大きさは、日本工業規格Ａ４とすること。
２　種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
３　判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
４　選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
５　措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。